【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年10月31日(2024.10.31)

【公開番号】特開2023-135524(P2023-135524A)
【公開日】令和5年9月28日(2023.9.28)
【年通号数】公開公報(特許)2023-183
【出願番号】特願2022-40781(P2022-40781)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　６０５Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月23日(2024.10.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
スタートスイッチを有し、
ストップスイッチを有し、
情報を表示可能な表示手段を有し、
内部抽せん手段を有し、
有利区間では、第１遊技状態と、第１遊技状態よりも停止操作情報の報知確率が高い第２遊技状態と、を少なくとも有し、
連続演出（「連続演出」とは、複数回の連続する遊技にわたって実行される一連の演出を指す。以下同じ。）が実行可能であり、
第１遊技状態で実行可能な３遊技以上の連続演出において、当該連続演出の途中の遊技（当該連続演出を実行する遊技のうち、タイトルを表示する遊技及び最終遊技を除く遊技に相当する。）では、ストップスイッチの第１停止操作を契機とする演出の分岐数の平均値は、ストップスイッチの第３停止操作を契機とする演出の分岐数の平均値よりも多く、
第１遊技状態で実行可能な３遊技以上の連続演出において、ストップスイッチの第１停止操作を契機として実行される演出のうちの相対的に期待度が高い演出の数は、ストップスイッチの第３停止操作を契機として実行される演出のうちの相対的に期待度が高い演出の数よりも多く、
内部抽せん手段によって所定結果が決定された遊技では、表示手段に所定停止操作態様に対応する停止操作情報を表示可能であり、
停止操作情報として、第１停止操作に関する情報である第１停止操作情報と第２停止操作に関する情報である第２停止操作情報と第３停止操作に関する情報である第３停止操作情報とを表示可能であり、
前記第１停止操作情報の表示態様として、通常態様と成功態様とを少なくとも有しており、
前記第２停止操作情報の表示態様として、通常態様と成功態様とを少なくとも有しており、
前記第３停止操作情報の表示態様として、通常態様と成功態様とを少なくとも有しており、
成功態様は、ストップスイッチが操作されたことに基づいて表示され得る表示態様であり

、
スタートスイッチが操作され、内部抽せん手段によって所定結果が決定された遊技であって、表示手段に前記所定停止操作態様に対応する停止操作情報が表示されているときに、第１停止操作として前記第１停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第１停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっており、且つ前記第２停止操作情報が表示されているときに、第２停止操作として前記第２停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第２停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっている状況にて、電源断が発生し、電源復帰した後は、表示手段に前記第２停止操作情報が成功態様で再表示可能であり、
スタートスイッチが操作され、内部抽せん手段によって所定結果が決定された遊技であって、表示手段に前記所定停止操作態様に対応する停止操作情報が表示されているときに、第１停止操作として前記第１停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第１停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっており、且つ前記第２停止操作情報が表示されているときに、第２停止操作として前記第２停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第２停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっており、且つ前記第３停止操作情報が表示されているときに、第３停止操作として前記第３停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第３停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっている状況にて、電源断が発生し、電源復帰した後は、表示手段に前記第１停止操作情報が再表示されず、表示手段に前記第２停止操作情報が再表示されず、表示手段に前記第３停止操作情報が再表示されない
遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本態様に係る遊技機は、
スタートスイッチを有し、
ストップスイッチを有し、
情報を表示可能な表示手段を有し、
内部抽せん手段を有し、
有利区間では、第１遊技状態と、第１遊技状態よりも停止操作情報の報知確率が高い第２遊技状態と、を少なくとも有し、
連続演出（「連続演出」とは、複数回の連続する遊技にわたって実行される一連の演出を指す。以下同じ。）が実行可能であり、
第１遊技状態で実行可能な３遊技以上の連続演出において、当該連続演出の途中の遊技（当該連続演出を実行する遊技のうち、タイトルを表示する遊技及び最終遊技を除く遊技に相当する。）では、ストップスイッチの第１停止操作を契機とする演出の分岐数の平均値は、ストップスイッチの第３停止操作を契機とする演出の分岐数の平均値よりも多く、
第１遊技状態で実行可能な３遊技以上の連続演出において、ストップスイッチの第１停止操作を契機として実行される演出のうちの相対的に期待度が高い演出の数は、ストップスイッチの第３停止操作を契機として実行される演出のうちの相対的に期待度が高い演出の数よりも多く、
内部抽せん手段によって所定結果が決定された遊技では、表示手段に所定停止操作態様に対応する停止操作情報を表示可能であり、
停止操作情報として、第１停止操作に関する情報である第１停止操作情報と第２停止操作に関する情報である第２停止操作情報と第３停止操作に関する情報である第３停止操作情報とを表示可能であり、
前記第１停止操作情報の表示態様として、通常態様と成功態様とを少なくとも有しており

、
前記第２停止操作情報の表示態様として、通常態様と成功態様とを少なくとも有しており、
前記第３停止操作情報の表示態様として、通常態様と成功態様とを少なくとも有しており、
成功態様は、ストップスイッチが操作されたことに基づいて表示され得る表示態様であり、
スタートスイッチが操作され、内部抽せん手段によって所定結果が決定された遊技であって、表示手段に前記所定停止操作態様に対応する停止操作情報が表示されているときに、第１停止操作として前記第１停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第１停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっており、且つ前記第２停止操作情報が表示されているときに、第２停止操作として前記第２停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第２停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっている状況にて、電源断が発生し、電源復帰した後は、表示手段に前記第２停止操作情報が成功態様で再表示可能であり、
スタートスイッチが操作され、内部抽せん手段によって所定結果が決定された遊技であって、表示手段に前記所定停止操作態様に対応する停止操作情報が表示されているときに、第１停止操作として前記第１停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第１停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっており、且つ前記第２停止操作情報が表示されているときに、第２停止操作として前記第２停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第２停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっており、且つ前記第３停止操作情報が表示されているときに、第３停止操作として前記第３停止操作情報に対応したストップスイッチが操作され、前記第３停止操作情報が成功態様で表示されてから非表示になっている状況にて、電源断が発生し、電源復帰した後は、表示手段に前記第１停止操作情報が再表示されず、表示手段に前記第２停止操作情報が再表示されず、表示手段に前記第３停止操作情報が再表示されない
遊技機である。
＜付記＞
尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。
本別態様に係る遊技機は、
遊技メダルを投入可能な投入口と、
前記投入口から投入された遊技メダルを選別するメダルセレクタと、
遊技メダルを受け入れる入口部が設けられ、遊技メダルが貯蔵されるホッパーと、
前記メダルセレクタにて所定の規格に適合するとされた遊技メダルを前記ホッパーの前記入口部へ導くメダルガイドと、
前記メダルセレクタの下側に位置し、前記メダルセレクタにて前記所定の規格に適合しないとして排除された遊技メダルを受け入れる開口部が設けられたメダル返却部材と
を備え、
前記メダルセレクタと前記メダルガイドとは、隣り合う位置関係であるよう構成されており、
前記メダルセレクタと前記メダルガイドとの間には、所定の隙間が構成されており、
前記所定の隙間の鉛直下方には、前記メダル返却部材の前記開口部が位置する
ことを特徴とする遊技機である。